



ゲームを楽しむ子どもたち。子どもたちの間ではオンラインゲームが主流になっている。

便利ツールに潜む落とし穴

便利で楽しい要素が多い
メディアだが
マイナス要素も存在する
今や生活必需品となった
メディアの影を探る

「今の子どもたちは、あらゆるデジタル機器やネットサービスに囲まれて育ってきました。今後ICT、IoT化は一気に加速していきます。使い方によっては、子どもたちに悪影響を及ぼします」
そう警鐘を鳴らすのは、教育学や情報メディア研究を専門とする浜松学院大学短期大学部長の今井昌彦教授。今井教授に、メディアが持ち合わせているデメリットについて話を聞いた。

ーメディアの利用と子どもの学力には関係性があるのか。

近年、オンラインゲームやインターネット、SNSと学力の関係について、たくさん



研究結果が発表されています。文部科学省の実施した平成25年度全国学力・学習状況調査からは、「携帯・スマホの使用時間が長い子どもたちのテストの成績は低い」という集計結果が出ました。当時は「ゲームやSNSアプリの使用時間が長くなることで勉強時間や睡眠時間が減り、成績が落ちる」と考えられていましたが、東北大学加齢医学研究所所長の川島隆太教授の研究から新たな事実が浮かび上がりました。

川島教授は、仙台市内の小5年生から中学3年生までの子どもが受けた数学のテストの点数と、平日の家庭での学習時間、平日の携帯やスマホの使用時間の関係を分析しました。(グラフィック)